

第5回橋本地域オンデマンド交通実行委員会

日 時	令和2年6月12日（金）午後1時～午後3時		
場 所	四区公会堂		
参加者	団体名	役職	氏名
	中川地域政策研究所	代表	中川 貴由
		事務局長	松崎 孝二
	NPO 法人道しるべ	理事長	岡本 弥四郎
		理事	藤作 実
		理事	小北 幸博
	(一社)京都総合科学研究所	代表理事	八坂 青志
	京都府政策企画部	企画参事	福原 敏幸
	四区	区長	梶原 寛之
	西山地域町内会連合会	副会長	サカモト
	きつつき自治会	会長	中村 秀雄
	安居塚自治会	会長	大石 正幸
当 方	管理・交通課 佐野		

1. 実証実験の報告

(1) 実験概要

- 期 間 令和2年3月2日から14日
- 料 金 無料
- 対象地域 橋本東狩尾・西狩尾、西山丸尾
- 詳細は配布資料 P1「第1次実証実験」を参照

(2) 実験結果

- 利用件数 29件
- 利用者数 48名
- 利用者アンケートの結果
 - 80代・女性・10時から16時台の利用が多い
 - 利用目的は病院、買い物が多い
 - 利用者はおおむね満足している
 - 有料化した場合に希望する運賃は500円が最も多い
 - 詳細は別紙配布資料 P2-7「第1次実証実験まとめ」を参照

今回の実証実験では遠方への利用もあったことから、区域内に限定した場合は同様の結果とはならないことが推測される

(3) 質疑応答

問 今回の実験で最も遠方だったのはソフィアモールと聞いている。遠すぎるのでは？（小北）

- 次回以降の実証実験では区域内に限定する（中川）
- 問 区域内に限定した場合、失望を感じられるのでは（梶原）
- 本格運用の際には、利便性の高いバス停あるいは病院等への利用は認めてほしいと考えている（中川）

2. その後の状況

(1) 地域公共交通会議について

- 本活動については部会を立ち上げ、議論していただくことになる
- 持続可能な事業とするため、財源確保の裏付けが必要
 - 安定的な財源を確保する必要がある。スポンサー？会費？（中川）
- 次回の実証実験前には地域公共交通会議で報告する
- 詳細は配布資料 P8「道しるべ移動サービス取り組み状況」を参照

(2) 役員会について

- 活動資金を助成してもらうため、地域交響プロジェクトの申請手続きを進めている。6月末期限
- 詳細は配布資料 P8「道しるべ移動サービス取り組み状況」を参照

3. 今後の活動予定

- 無償の実証実験を9月に実施後、3回目の実証実験は有償で行う計画
- 次回会議は第2回の実証実験を行う前に開催する予定
- 詳細は配布資料 P9「今後の実証実験」を参照

4. その他

(1) タクシー会社への運行委託について

タクシーに運行を委託することが出来ると聞いた。であれば、これらの内容をタクシー会社に委託するほうが早くオンデマンド交通が実現するのでは？（大石）

- タクシー会社に委託する方がハードルが高い。なぜならタクシー業界は民間事業者であるので、このような採算が取れない事業には手を出さない。（中川・藤作）
- 本来の主旨はボランティアによる移動手段の確保。タクシー会社に運行を委託するのは趣旨が違うのでは？（梶原）

【所 感】

会長である中川氏は既存の公共交通に影響が出ないように本事業を移動範囲を限定した有償運送事業にすると明言されていますが、市内の主要病院に接続したあるいは採算の取れる事業としたいとの発言もされており、本音と建前が異なる印象を受けました。採算の取れる事業を目指す場合、業務の範囲を広くするあるいは運賃を高めを設定する必要があり、既存の交通事業者が反対する可能性があります。いずれにしても今後の地域公共交通会議において交通事業者の発言を注視していきたいと思えます。